

すみれタイムス

SUMIRE TIMES

2024年 第26号

発行：株式会社 公益社

〒630-8113 奈良市法蓮町413番地

TEL/0742-23-2115

FAX/0742-26-3338

https://www.narakoueki.co.jp/

すみれ倶楽部会員様に年2回、日々の暮らしをちょっと楽しくしてくれる、素敵な情報をお届けしています。

ようこそ お寺へ

華嚴宗

にちりんさん
日輪山

新薬師寺

千年の時を超えて現代も続く祈り

新薬師寺は、天平19年(747年)に、東大寺の大仏を造立された聖武天皇の病氣平癒を祈願し、光明皇后により創建されました。本尊の薬師如来に日頃のさまざまな過ちを懺悔し、人々の幸せを祈る薬師悔過の法要を執り行うことで、752年に聖武天皇ご健在の中、大仏開眼供養会が無事に執り行われました。

創建当時の新薬師寺は、約440メートル四方の広大な敷地を持つ大寺院でした。金堂や東西両塔など七堂伽藍が立ち並び、とりわけ金堂は現在の東大寺大仏殿を凌ぐ規模だったとされています。しかし、780年の落雷や962年の台風により、多くの建造物が失われました。その後、鎌倉時代までには現在の姿に蘇りました。

現在も、毎年1月8日と4月8日には薬師悔過の法要が行われています。とくに4月8日に行われる「おたいまつ(修二会)」は、全長7メートルを超える大松明10本と籠松明1本が、夜の闇を焦がすように本堂の周囲を回ります。境内に響き渡る雅楽の調べと鐘の音色が、この世ならぬ雰囲気醸し出す中、本堂の正面に開かれた三面屏からは、揺らめく松明越しに薬師如来と十二神将の姿が浮かび上がります。法要後には、参拝者も堂内に入り、僧侶たちの読経の様子を360度、どこからでも見る事ができます。



4月8日に行われる「おたいまつ(修二会)」



▲ 本堂(国宝)。本来は修法を行うためのお堂であったと考えられる

古代建築の息吹を伝える本堂

悠久の時を超えて佇む国宝の本堂は、かつて食堂であったといえます。奈良時代の貴重な建造物として国宝に指定されました。屋根には鴟尾ではなく鬼瓦が鎮座しています。建物の内部に入ると、露出した天井の骨組みが印象的で、その素朴な美しさが時の経過を感じさせます。そして足元にも注目。中田定観住職は、「床に敷き詰められているのは素焼きの瓦です。白っぽい瓦は、天平時代のものなのです。歩きやすく柔らかい感触があると思います。」とおっしゃっていました。国宝本堂は、時代を超えて私たちに語りかける、生きた歴史の証人なのかもしれません。

樹齢千年の木が語る信仰の歴史

本尊は国宝の木造・薬師如来坐像(奈良時代(平安時代初期)です。光背には六体の仏が優美に配され、本尊と合わせて七仏薬師を示しています。全体の木目を合わせ、一本のカヤの木から丸彫りしたように作られているのが特徴です。使われた木材は、仏像を作る時にすでに千年以上の樹齢だったと推測され、仏像となつてからさらに千三百年以上が経過して



拝観データ

住所／奈良市高畑町1352

アクセス／ JR奈良駅・近鉄奈良駅から
市内循環バス外回りで「破
石町」下車、山手へ徒歩10分

電話／ 0742-22-3736

参拝時間／9:00~17:00

拝観料／大人600円、中高生350円
小学生150円

駐車場／ 10台

行事案内

1月8日15:00~「初薬師(修正会)」

4月8日17:00~「おたいまつ(修二会)」

います。中田住職はこう語ります。「仏像を拝観する際には、その芸術性や歴史的な価値だけでなく、使われた木材の歴史や、たくさんの人々が祈ってきた場所の雰囲気も感じてみるというでしょう。お堂に入ると、古代の森林浴をしているような気分になりますよ。」さまざまな視点から仏像を拝すること、より深い理解と感動が得られるかもしれません。

十二神将立像の芸術的価値とその魅力

日本最古にして最大の塑像・十二神将立像(奈良時代)は、薬師如来を守護するため、十二の方向に円陣を組むように配置されています。十二の武将がおり、各々が七千の眷属を率いていて、総勢八万四千の大部隊で薬師如来とその信仰者を守っています。頭に干支が乗っていないのは、その思想が伝わる以前に制作されたためと考えられます。制作方法は、木の骨組みに縄を巻き付け、粘土を盛り付けて彩色を施しています。赤い髪に青い顔など、かつては鮮やかだったそうで、今でもほんのりと色が残っているのが見取れます。その姿は、



▲ 本尊・薬師如来坐像(木造・国宝)と十二神将立像(塑像・国宝 ※波夷羅(ハイラ)大將像は除く)

タクラマカン砂漠を走る騎馬民族の格好をしており、袖口や足首を括って砂の進入を防いでいる様子まで細やかに表現されています。皮の鎧は、柔らかい皮の縁が少し反りかえっている部分までリアルに再現されており、その技巧に驚かされます。十一体が国宝に指定されており、一体だけ近年に制作された補作です。違いを観察してみるのもおもしろいと思います。



▲ 十二神将のひとつ「伐折羅(バサラ)大將」

失われた香薬師立像と隠された地蔵の秘密

新薬師寺には、いくつかの不思議な話があります。その一つが、本堂に安置されているレプリカの香薬師如来立像です。白鳳彫刻の最高傑作として国宝に指定されたこの像は、2度の盗難に遭うも寺に戻りました。しかし、昭和時代に3度目の盗難に遭い、今も行方不明のままです。時は流れ2016年、奇跡が起こります。この像の右手のみが発見され、寺に還ってきたのです。

もう一つの不思議は、2体の地藏菩薩立像が紡ぐ物語です。1984年、像の修理中に1体の像の中から裸形の「地藏菩薩立像裸形像(おたま地蔵)」が姿を現しました。これは、弟子が亡き師の姿を偲んで作られた像で、後に木製の衣が上から被せられたものだといわれました。この像は10日前に予約を入れ、300円の特別拝観料を納めれば、その姿を拝することが出来ます。

新薬師寺の名前の意味

新薬師寺の「新」は「あらたかな」を意味し、「霊験あらたかな薬師如来を祀ったお寺」という意味を持ちます。仏像を拝観する際は、しゃがんで見ると目が合い、まるで自分に語りかけているような感覚を覚えます。千三百年の歴史を持つ仏像たちとの対話を楽しんでみてはいかがでしょうか。(写真提供/新薬師寺)

2024年

11月23日 土 9:00 ~ 14:30

場所／ならやま会館

駐車場180台完備

奈良市佐保台1-3574-4

0120-71-4211

TEL 0742-71-4200



チャリティーイベント

人形供養と事前相談会



※人形の受付は当日のみ(14:00まで)とさせていただきますので、ご注意ください。

1F 人形供養

受付
9:00~14:00法要 & 法話
14:00~14:30

- 供養代はいただいておりません。
お気持ちで 骨髄バンクへの募金 をお願いします。
- 人形以外のケースや雛壇は、
1つにつき500円を廃棄代としていただきます。



1F 事前相談会

この機会に是非ご相談くださいませ。
お待ちしております。QUOカード
1,000円分をプレゼント!

2F 式場見学

祭壇を飾っておりますので
ご自由に見学ください。お問い合わせは
コチラ

第8回

すみれ俱樂部

日帰りバス旅行

in 箕面 /
に行ってきました!!5年ぶりの日帰りバス旅行に参加者 25 名と 2 名のスタッフ、
そしてドライバーを合わせた 28 名で出発! 阪急箕面駅に
向かう道中では景観を楽しんだりお話をしたりと最高の
ドライブでした!

西江寺

西暦658年に建立された西江寺で写経体験
を行いました。新緑が鮮やかな境内で素敵
な時間を過ごしました!

バス旅行 行程表

8:30	バス移動: 自己紹介タイム
10:00	写経体験 (西江寺)
11:30	川床で昼食
14:00	自由散策
16:00	箕面大滝観光
17:30	バス移動: ビンゴ大会

箕面
大滝箕面大滝は水量も豊富で
圧巻でした! 水が滴り艶
やかな新緑のもみじを見て
いる不思議と心も体も癒さ
れるようでした。

昼食

川床でのお食事風景!

お出汁の効いたお料理
や特産の柚子醤油に
舌鼓を打ちながら箕面
ビールで乾杯!!
川のせせらぎを聞きな
がら食事を楽しむことが
でき大満足でした!帰りのバスではビンゴ大会を開催しました! 景品には箕面ビールや
柚子サイダーなどがありとても盛り上がりました! 久しぶりのバス旅
行でしたが沢山のご応募、ご参加をいただきありがとうございました!
これからも皆様に喜んでいただけるような企画を考えてまいります!